

*Spring Exhibition: Prints by Marc Chagall and
Odilon Redon from the Museum Collection*

第1展示室

第2展示室

喫茶室
Le Musée

ミュージアムショップ

入口

受付

神奈川県立近代美術館 鎌倉

- ① 展示物には手を触れないでください。
- ② 展示室での写真撮影はご遠慮ください。
- ③ 指定の場所外で、館内は禁煙です。
- ④ 展示室での飲食はご遠慮ください。
- ⑤ かさや大型の手荷物の持ち込みはご遠慮ください。
- ⑥ ペンなど、インクを使用する筆記用具は使わないでください。
鉛筆の貸出をしておりますので、
受付でお声をおかけください。
- ⑦ 携帯電話のスイッチはお切りください。
- ⑧ 犬、猫などペットの連れ込みはできません。
ただし補助犬はご同伴いただけます。

REDON



The Museum of
Modern Art,
Kamakura &
Havama

袖亭川圓立近代美術館

1

マルク・シャガール

『サーカス』 望月富防氏寄贈

1967年

Marc Chagall【1887-1985】

Le cirque

リトグラフ
lithograph

1967年に刊行されたこの版画集は、とりかかり始めてから実に40年以上の時間を経て実現されたものである。最初の依頼者はパリの画商アンブロワーズ・ヴォーラル。彼はシャガールの最初のパリ滞在時1927年に、サーカスを主題とする挿絵本の制作をもちかけ、ともにサーカス小屋に通って構想を練ったが、結局版画集は実現しなかった。その後、シャガールは油彩・水彩・グワッシュ・デッサンなど様々な技法でサーカスの主題を描いている。そして『ダフニスとクロエ』を出版した同じテリアードが、この『サーカス』の出版を実現させた。懐かしさや哀しさ、生きることの輝きが、サーカスには入り混じり、シャガールにとっては決別した故郷ヴィテブスクを思い起こさせるものでもあって、格別の思いを込めた主題であったようだ。

※前・後期ともにすべて出品

1-1	扉絵	Frontispice
1-2	自転車乗りたち	Les cyclistes
1-3	緑の馬の上の女曲馬師	L'écuyère au cheval vert
1-4	赤い服の女曲馬師	L'écuyère en rouge
1-5	恋人たち	Les amoureux
1-6	大きな道化師	Le grand clown
1-7	黄色の道化師	Le clown jaune
1-8	空中ブランコ乗りと曲芸師	Les trapézistes et les jongleurs
1-9	リング	La piste
1-10	猛獣使い	Le dompteur
1-11	猛獣たち	Les fauves
1-12	馬たち	Les chevaux
1-13	オーギュスト	L'Auguste
1-14	白い服の女曲馬師	L'écuyère en blanc
1-15	黄色のリング	La piste jaune
1-16	無題	Sans titre
1-17	青い女曲馬師	L'écuyère bleue
1-18	扇を持つ女曲馬師	L'écuyère à l'éventail
1-19	サーカス	Le cirque
1-20	花束を持つ娘	La jeune fille au bouquet
1-21	軽業師たち	Les acrobates
1-22	空中ブランコ乗り	Les trapézistes
1-23	演奏する道化師	Le clown musicien

2

マルク・シャガール

『馬の日記』 望月富防氏寄贈

1952年

Marc Chagall【1887-1985】

Journal d'un Cheval

リトグラフ、エッチング
lithograph and etching

シュルレアリスムの詩人イヴァン・ゴルの妻クレール・ゴル(1891-1977)によるテキストに、シャガールが挿絵をつけたもの。馬を主人公とする日記の形の物語で、荷馬・郵便馬車馬など、馬の仕事を並びあげて「労働時間と労働環境の順守を！」と呼び掛けたかと思うと、恋人に愛の告白をする、才気溢れる荒唐無稽な物語。物語そのものは1926年に発表され、シャガールの挿絵つき豪華本は1952年に出版されている。

※前・後期ともにすべて出品

3

マルク・シャガール

『ダフニスとクロエ』 望月富防氏寄贈

1961年

Marc Chagall【1887-1985】

Daphnis et Chloé

リトグラフ
lithograph

紀元2世紀から3世紀ころに活躍したギリシアの詩人ロンゴスによる恋愛物語。長い間忘れ去られていたが、18世紀に再発見されてにわかに脚光を浴び、挿絵入りの出版がいくつもある。物語はロンゴスの時代に変好まれた思春期の恋愛物語で、ギリシアのレスボス島が舞台。捨て子として牧人ラモンに育てられた美少年ダフニスと、牧人ドリ阿斯に育てられた美少女クロエが恋をし、さまざまな試練を超えて大人の愛を知る、成長する恋の物語である。この版画集の出版をシャガールに持ちかけたテリアードはレスボス島出身の画商兼美術出版者。シャガールは2度ギリシアにわたって取材し、素描などで準備を重ね、実に10年近い歳月をかけて完成させた。作品1点につき20色以上の色を使っているから、全42点で1000枚近い石版を製版したことになる。リトグラフ特有の色彩表現の効果に、シャガールがいかに大きな魅力を感じていたかが窺われる作品である。

			前期	後期
3-1	扉絵	Frontispice	○	○
3-2	ラモンに見つけだされたダフニス	Découverte de Daphnis par Lamon	○	○
3-3	ドリ阿斯に見つけ出されたクロエ	Découverte de Chloé par Dryas	○	○
3-4	ラモンとドリアスの夢	Le songe de Lamon et de Dryas	○	○
3-5	牧場の春	Le printemps au pré	○	×
3-6	狼の落とし穴	Le piège à loups	○	×
3-7	泉のほとりのダフニスとクロエ	Daphnis et Chloé au bord de la fontaine	×	○
3-8	クロエの審判	Le jugement de Chloé	×	○
3-9	クロエの接吻	Le baiser de Chloé	○	×
3-10	ドルコンの計略	La ruse de Dorcon	○	×
3-11	夏の真昼	À midi, l'été	×	○
3-12	つばめ	L'hirondelle	×	○
3-13	ドルコンの死	La mort de Dorcon	○	○
3-14	ニンフたちの洞窟	La caverne des Nymphes	○	○
3-15	葡萄の収穫	Les vendanges	○	○

3-16	フィレタスの果樹園	Le verger de Philétas	○	○
3-17	フィレタスの教え	La leçon de Philétas	○	○
3-18	メティーンの若者たち	Les jeunes gens de Méthymne	○	○
3-19	略奪されたクロエ	L'enlèvement de Chloé	○	×
3-20	ダフニスとニンフの夢	Le songe de Daphnis et des Nymphes	○	×
3-21	ブリャクシス船長の夢	Le songe du capitaine Bryaxis	×	○
3-22	ニンフたちへの供物	Le sacrifice aux Nymphes	×	○
3-23	羊飼の神パンの宴会	Le banquet de Pan	○	○
3-24	シランジュの物語	La fable de Syringe	○	○
3-25	冬	L'hiver	○	○
3-26	鳥を追う	La chasse aux oiseaux	○	○
3-27	ドリアスの家の食事	Le repas chez Dryas	○	×
3-28	春	Le printemps	○	×
3-29	ダフニスとリセニオン	Daphnis et Lycenion	×	○
3-30	エコー	L'écho	×	○
3-31	夏の季節	La saison d'été	○	○
3-32	死んだイルカと3百エキュ	Le dauphin mort et les trois cents écus	○	○
3-33	クロエ	Chloé	○	×
3-34	果樹園	Le verger	○	×
3-35	寺院とバッカスの話	Le temple et l'histoire de Bacchus	×	○
3-36	荒らされた花園	Les fleurs saccagées	×	○
3-37	ダフニスとグナトン	Daphnis et Gnathon	○	○
3-38	ディオニソファンの到着	L'arrivée de Dionysophane	○	○
3-39	クロエを着飾るクレアリスト	Chloé vêtue et coiffée par Cléariste	○	○
3-40	祭りの時娘を見つけたメガクレス	Mégaclês reconnaît sa fille pendant le festin	○	○
3-41	ニンフの洞窟の婚礼の祝い	Le festin nuptial dans la grotte des Nymphes	○	○
3-42	結婚	L'hyménée	○	○

4

オディロン・ルドン
Odilon Redon【1840-1916】

『悪の華』 岡畏三郎氏寄贈
Les Fleurs du Mal

1890年
ルドンの原画によるエヴリー法の版画
illustrations reproduced by the Evelyn process

シャルル・ボードレールの詩集『悪の華』の挿絵。『悪の華』は退廃的な官能美や近代生活の憂愁、神秘感などを暗示的・象徴的手法で詩にした作品で、19世紀末の芸術に大きな影響を及ぼした。ルドンは早くからボードレールに親しんでおり、版画の中によく現われる「夢」という着想もボードレールの美術批評に大きく負うところがある。素描を石版に転写する方法はよく用いたが、これはベルギーの摺り師エヴリーが考案した転写法でルドンの素描を銅版に写し版画に起こしたもの。もとの素描は版画になる前にベルギーの二十人会で展示されている。

※前・後期ともにすべて出品

4-1	表紙ー扉絵	Couverture-Frontispice
4-2	私はお前を夜の穹窿のように崇める おお 悲しみの壺 丈高い無言の女よ	Je t'adore à l'égal de la voûte nocturne, O vase de tristesse, O grande taciturne
4-3	馨の残れる古びたる香水壺を見出すことあり 匂いの精は蘇りてそこより生々と迸り出ず	Parfois on trouve un vieux flacon qui se souvient, d'où jaillit toute vive une âme qui revient
4-4	重苦しくも陰鬱なる夜 善良なるキリスト教徒の慈悲により とある古い廃墟の陰に高慢なりし汝が身体埋められれば	Si par une nuit lourde et sombre, un bon chrétien, par charité, derrière quelque vieux décombre, enterre votre corps voûté
4-5	逸楽よ しなやかなる幻影よ！	Volupté, fantôme élastique!
4-6	わが夜な夜なの暗やみの背景に 神は巧みな指先もて途切れることなきさまざまの悪夢を描く	Sur le fond de nos nuits Dieu de son doigt savant dessine un cauchemar multiforme et sans trêve
4-7	絶えずわが傍らに悪魔はうごめき	Sans cesse à mes côtés s'agite le Démon
4-8	願わくは光栄と讃歌 御身の上にあれかし 悪魔よ御身の統治し給える天国の高処(たかど)に在すときも 御身敗残して黙然と想いに沈む地獄の底に在すときも！	Gloire et louange à toi, Satan, dans les hauteurs du ciel où tu régnas, et dans les profondeurs de l'enfer, où vaincu, tu rêves en silence!
4-9	章末の挿絵	Cul-de-lampe

5

オディロン・ルドン
Odilon Redon【1840-1916】

『ゴヤ頌』 岡畏三郎氏寄贈
Hommage à Goya

1885年
リトグラフ
lithograph

ルドンの仕事には、当時から「文学的な美術」という評価がなされてきた。本の形式をとったことや、作品に難解なキャプションを付けたことも、文学的と受け取られた理由である。この作品の1点1点に付けられた題名もルドンによるもの。作品全体はスペインの画家ゴヤに捧げられているが、ゴヤの作品との直接的な関連はない。39歳での遅いデビューのあとの一連の作品のひとつで、当時のロマン主義やデカダンスの文学が好んだゴヤの世界を引き入れた一種の戦術だったとも言われているが、その戦術はそれなりに効果的だったようだ。

※前・後期ともにすべて出品

5-1	夢の中で天に神秘の顔を見た	Dans mon rêve, je vis au ciel un visage de mystère
5-2	沼に咲く花 悲しそうな人間の顔	La fleur du marécage, une tête humaine et triste
5-3	陰気な景色の中の狂人	Un fou dans un morne paysage
5-4	胎児のような存在もいた	Il y eut aussi des êtres embryonnaires
5-5	不思議な吟遊詩人	Un étrange jongleur
5-6	目覚めた時 厳しくおごそかな顔立ちの叡知の女神を見た	Au réveil j'aperçus la Déesse de l'Intelligible au profil sévère et dur

『聖アントワーンの誘惑』第1集・第3集

聖アントワーンはキリスト教の聖人で、実在した人物。荒野で修業を積み、悪魔が仕掛ける様々な誘惑に打ち克って、修道院の基礎を作ったといわれる。ルドンが挿絵をつけたのは、ギュスターヴ・フローベールの同名の戯曲仕立の小説で、古代宗教や神話を用いており、実は伝統的な聖アントワーンの誘惑とは趣が異なる物語である。この小説を、新しい怪異のイメージを得るのに絶好だとルドンに勧めたのは、文芸批評家の若い友人エミール・エヌキャンだった。ルドンは1988年、89年、96年と3回にわたり40数点のリトグラフを制作しており、当館は88年の第1集と96年の第3集を所蔵している。

6	オディロン・ルドン	『聖アントワーンの誘惑』第1集	望月富防氏寄贈	1888年
Odilon Redon【1840-1916】		La Tentation de Saint-Antoine: première série	リトグラフ	
			lithograph	前期 後期
6-1	…まず水溜り、ついで娼婦、寺院の一角、兵士の顔、後脚で立った二頭の白い馬が引く戦車	...D'abord une flaque d'eau, ensuite une prostituée, le coin d'un temple, une figure de soldat, un char avec deux chevaux blancs qui se cabrent		○ ×
6-2	それは双翼の下に七つの大罪を抱く悪魔だ…	C'est le Diable, portant sous ses deux ailes les sept péchés capitaux...		× ○
6-3	そして空から舞い降りた大きな鳥が彼女の髪のとっぺんに襲いかかる…	Et un grand oiseau qui descend du ciel vient s'abattre sur le sommet de sa chevelure...		○ ○
6-4	彼はブロンズの壺を持ち上げる	Il hausse le vase d'airain		○ ○
6-5	つづいて魚の胴体に人間の頭をもつ奇妙な生き物が現れた	Ensuite paraît un être singulier, ayant une tête d'homme sur un corps de poisson		○ ×
6-6	それはバラの冠をいただいた死者の頭であるそれが真珠のように白い女の胴体の上のっている	C'est une tête de mort, avec une couronne de roses. Elle domine un torse de femme d'une blancheur nacrée.		× ○
6-7	…緑色の目をしたキマイラがのたうちまわり吠えたりする	...La Chimère aux yeux verts tourne, aboie.		○ ×
6-8	そしてあらゆる種類の恐ろしい動物が現れる	Et toutes sortes de bêtes effroyables surgissent.		× ○
6-9	いたるところで瞳が焰をはく	Partout des prunelles flamboient		○ ○
6-10	…そして太陽の円光の中にイエス・キリストの顔が輝く	... Et dans le disque même du soleil, rayonne la face de Jésus-Christ.		○ ○

7	オディロン・ルドン	『聖アントワーンの誘惑』第3集		1896年
Odilon Redon【1840-1916】		La Tentation de Saint-Antoine: troisième série	リトグラフ	
			lithograph	前期 後期
7-1	聖アントワーン: 助けたまえ 神よ！	Saint-Antoine: Au secours mon Dieu!		○ ○
7-2	いたるところに玄武岩の柱がならぶ…光は穹窿から差しこむ	Et partout ce sont des colonnes de basalte, ...la lumière tombe des voûtes		○ ○
7-3	わが口づけは汝の心にとろける果物の味！ …汝はわれをさげすむ！ さよなら！	Mes baisers ont le goût d'un fruit qui se fondrait dans ton cœur! ...Tu me dédaignes! Adieu!		○ ○
7-4	花が散り 怪しい蛇の頭が現われる	Des fleurs tombent, et la tête d'un python paraît		○ ×
7-5	物かげで 人々が彼等を諷めるほかの人々に囲まれて泣いたり祈ったりしている…	Dans l'ombre des gens pleurent et prient entourés d'autres qui les exhortent...		× ○
7-6	…そして彼は乾いた起伏のある平原を見わたる	...Et il distingue une plaine aride et mamelonneuse		○ ×
7-7	…私は孤独のうちに沈んだ 私は私のうしろの木に住んでいた	...Je me suis enfoncé dans la solitude. J'habitais l'arbre derrière moi		× ○
7-8	エレヌ(エンノイア)	Hélène (Ennoia)		○ ×
7-9	いきなり三人の女神が現れる	Immédiatement surgissent trois déesses		× ○
7-10	叡知は私のものだ 私は仏陀になった	L'intelligence fut à moi! Je devins le Bouddha		○ ○
7-11	…そして頭を持たない目が軟体動物のようにただよっていた	...Et que des yeux sans tête flottaient comme des mollusques		○ ×
7-12	オアンネス: 私は混沌のなかの最初の意識として物質を固まらせ形をきめるために深淵の中から現れた	Oannès: Moi, la première conscience du chaos, j'ai surgi de l'abîme pour durcir la matière, pour régler les formes		× ○
7-13	ここによき女神がいる イデ山脈のイデ山に	Voici la Bonne-Déesse, l'Idéenne des montagnes		○ ×
7-14	私は常に偉大なるイシスである！ 何人も私のヴェールを持ち上げた者はいない！ わが生かせる果実は太陽である！	Je suis toujours la grande Isis! Nul n'a encore soulevé mon voile! Mon fruit est le soleil!		× ○
7-15	彼は奈落の底へまっさかさまに落ちる	Il tombe dans l'abîme, la tête en bas		○ ○
7-16	アントワーン: これらすべてのものの目的は何だろう？ 悪魔: 目的なんぞありはしない！	Antoine: Quel est le but de tout cela? Le Diable: Il n'y a pas de but!		○ ×
7-17	老女: 何を恐れるのか？ 広く暗い穴だ！ それは多分からっぽだろう？	La Vieille: Que crains-tu? Un large trou noir! Il est vide peut-être?		× ○
7-18	死: おまえを救えるのは私だ 抱き合おう	La mort: C'est moi qui te rends sérieuse; enlaçons-nous		○ ○
7-19	…精霊のようなものをしばしば天空に見た	...J'ai quelquefois aperçu dans le ciel comme des formes d'esprits		○ ×
7-20	…革袋のように丸い海の動物	...Les bêtes de la mer rondes comme des outres		× ○
7-21	オケアノスにはさまざまな人々が住んでいる	Des peuples divers habitent les pays de l'Océan		○ ○
7-22	ついに陽が昇った …そして太陽の円光の中にイエス・キリストの顔が輝く	Le jour enfin paraît, ...et dans le disque même du soleil, rayonne la face de Jésus-Christ		○ ○

彫刻室展示

※前・後期ともにすべて出品

岡本敦生 / おかもとあつお 【1951- 】	地殻	1995	石
OKAMOTO Atsuo	Crust		stone
渡辺豊重 / わたなべとよしげ 【1931- 】	よりそうふたつ	1987, 鑄造:1996	ブロンズ, 鉄
WATANABE Toyoshige	Nestling Two		bronze and iron
加藤昭男 / かとうあきお 【1927- 】	花	1974	ブロンズ
KATO Akio	Flower		bronze
ユハニ・サクサ 【1939- 】	REBIRTH	1997	ブロンズ, 石
Juhani SAKUSA	REBIRTH		bronze and stone
キキ・スミス 【1954- 】	右腕	1992	ブロンズ
Kiki SMITH	Right Arm		bronze
シルヴィア・ミニオ＝パルウエルロ・保田 【1934-2000】	聖女の足	1980, 鑄造:2000	ブロンズ
Silvia MINIO＝PALUELLO YASUDA	Feet of St.Catherine of Siena		bronze